

項目		評価の観点	教職員		学校関係者	項目に関する分析・意見・提言 など (○教職員 ◇学校関係者)	今後の改善に向けて (●教職員 ◆学校関係者)
			小項目 評価	上段：大項目評価 中段：教育活動評価 下段：学業評価			
確かな学力と個性を伸ばす教育の推進	主体的・対話的で深い学び	1互いに認め合う支持的風土を育てる学級・学年集団作りに努めた。	A	A 97.8 R5 (A 96.4)	A	○授業研究会を通じて授業改善について研修を深めることができた。 ○日頃の取組として「コミトレ」と称したコミュニケーションを主体とした学習活動の時間を全学年で設けるよう推進した。児童が楽しんで伝え合うことができるよう支援できた。 ○日頃の授業では学び合える学習スタイルの定着をはかっている。少しずつ児童の学習に向かう姿勢に変化が見られてきた。 ○校内研究授業だけでなく、普段の授業や、特に毎週金曜のコミトレを通して、対話的な学びを全校で意識して実施することができた。 ○四葉のクローバーのふり返りの観点を活かして、発達に応じたふり返しを行ったり、次の学習につなげたりする様子が多く見られるようになった。 ○夏は水戸部先生（京都女子大学教授）を講師にお招きし、教員全体で国語科の協働的な学びについて共通して学ぶことができ、2学期からの国語科の授業に活かす様子も見がれた。 ○子どもたちに対する姿勢が一生懸命に伝わってきた。 ○校内研究通信を発行し、参観していない教員も校内研究授業の様子を知ることができた。	●現在の取り組みを継続することで一層の改善を図っていきたい。 ●授業研究は教員にとって必要不可欠な取り組みと考えている。実際は多忙すぎて一部の教員の取組になってしまい広がりにくい状況がみられた。多忙の原因を取り除くことで本来の仕事にじっくり向き合えるようにする必要がある。 ●教員間でも対話的な学びやコミトレの実施など、意識の差がある。コミトレは、取組状況に差がある学年もあった。そこで研推が計画表をつくり、学年で共通理解して取り組むことができるようにしていく。 ●校内研究授業は、なるべく多くの教員が参観できればいいが、時間割や自習などによる難しさがあるので、引き続き校内研究通信を発行し、なるべく共通認識を持って授業改善に取り組めるようにしていきたい。
		2協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善（ICT活用含む）に努めた。	A				◆より一層の改善と継続、教職員の方々のためにも、子どもたちにとってもよい方向へ向いていけるよう、お願いします。 ◆教師間の伝達もできていると思う。 ◆先生方の学年単位のホームルーム時間を設け、活動されたいかがでしょうか。 ◆「共通認識をもって授業改善」は素晴らしいと思います。 ◆150周年記念式典では、5年生美術館と4年生防災を回りました。我々大人への接客対応が素晴らしいただけでなく、見に来ている低学年児童に親身になって説明している姿がとても印象的でした。
		3「めあて」「ふり返し」や学び合いを取り入れた授業づくりを行うなど、主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会に取り組んだ。	A			◇運動会や150周年の事業などにおいて、運動会のリレーで先生に言われなくても自分のクラスが何番にいるかを見て、自ら並びに行く姿を見て感動しました。どんな行事を見ても、先生が表に出ず、子どもたちが主体で動いている姿をたくさん見せていただき、成長している姿が見られて嬉しかったです。先生方の努力のおかげだと感謝しています。 ◇いつも前向きに取り組んでおられる様子をうかがい、努力が見受けられる。 ◇子どもたちに対する姿勢が一生懸命に伝わってきた。 ◇研修で学んだことを生かし、小さな輪から大きな輪に発展していくことが大切だと感じました。（この評価書を見て、活かされている感じがしました。）	
	道徳教育の充実	4生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動を工夫した。	A	B 87.7 R5 (A 95.8)	A	○道徳科の授業をはじめ、学校のアンケートなどからいじめを許さない態度を育む姿が見られた。 ○学年として課題であったことを克服するために、教材研究をし、学年で統一して授業をした。また、学年の担任で道徳の授業交換を行うことで、教材研究にける時間を多くもつことができたり、他クラスの児童理解をしたりすることができた。 ○全校一貫して「人権週間」や「いじめ防止月間」を設け、学年ごとに題材や授業展開を話し合うことで、組織的に道徳の実践力を育てる活動を行うことができたと思う。 ○全校で閲覧できるファイルに各学年・各教科書教材ごとに板書や自作プリントなどのデータを蓄積できるようにした。実践している人数は少ないが、これを次年度以降も続けていくことで、少しずつデータが増えていき、教材研究の助けになると思う。また、いくつかの学年は道徳科の交換授業を実施しており、教材研究の時間を短縮するだけでなく、児童が様々な教師の価値観に触れることを可能にした。 ○道徳科の学習参観を設けることで、地域等に学校での道徳教育の方向性を示した。また、学級によっては保護者の意見を取り上げる実践もあり、教師以外の大人の価値観に触れる機会を設けることができた。	●道徳授業の教材研究する時間を十分に確保することができなかった。そのため、指導書通りの授業となり、児童の実態にあう道徳の授業にすることができないことがあった。週に1回は道徳の授業について学年で考える時間を確保し、意見交流ができるようにしていく。 ●教材の共有・引継ぎをより多くの教員が行うことで、より多くのデータが蓄積され、今後の教材研究の助けになると思う。そのために、校内研修などを行うことで、より多くの教員の意識を道徳科に向けさせるようにしていきたい。 ●思考の個性差を埋めるべく、グループ学習や対話の場面の頻度を増やしたい。 ●普段の授業よりも「いじめ」に関わる事例をもとに授業をしてはどうか。保護者を巻き込んで「いじめ」を考える良い機会になるのではと思う。
		5道徳の授業・評価に関する研究や資料の開発・整備・交流に努めた。	B				◆道徳科の学習参観は、親・子・教師が同じ場で学べたりするので、（内容は詳しく知りませんが）その場を利用して、それぞれの意見交換ができる場面や共通理解できる場になればいいと思います。 ◆保護者、子どもと一緒に道徳教育を学ぶ機会や話し合う機会を一回でも多く、取り組んでもらえたらと思います。 ◆まだまだ、いじめを見ても先生に伝えることができないと、子どもから相談を受けたことがあります。その時その場での対応で方向性が変わるので、できるだけ専門分野の方と相談した方がいいと思う。 ◆意識を道徳科に向けた活動は、「特性要因図」を作成し、研修されてはどうでしょうか。
		6道徳の時間を公開するなど、保護者や地域との連携も視野に入れて道徳教育に取り組んだ。	B			◇「道徳」は、果てしなく続く課題なので、B評価されている先生が多いのは、より高みを目指していると思うので、逆に良いと感じる。 ◇先生方とは、人権教育で一緒することが多くあり、前向きに取り組まれていることを大いに評価します。子どもたちへも、そういったことから確りと取り組めているように思います。 ◇コロナの制限解除から、まだ1年余りしか経っていない中で、子どもたちの中でもコントロールが難しいと思うので、些細なことでもいじめにつながる中、対応は良かったと思う。 ◇「意見交流」は良いですね。これからも進めてください。	
	体力づくり	7たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善に努めた。	A	A 93.5 R5 (B 89.1)	A	○体力テスト前に各種目に合わせて授業の中で練習会を行い、種目に慣れさせる事で苦手とする種目の成績アップをすることができた。ただ、運動の得意な児童と苦手な児童の成績に大きな差ができてしまった。 ○休み時間には、多くの子どもたちが外遊びを楽しむ姿を見る。しかし、中遊びを好んでする児童も一定数いて、外で体を動かす機会を多く設定する必要がある。 ○運動会の団体競技を通じて、普段走ることが苦手な子も一生懸命取り組む姿が見られ、体育だけでなく、クラスでの団結などにもつながっていた。 ○スーパートライやチャレンジランキングでは、提案はしているものの、周知度が低く参加人数が少なかったり、得意な児童だけが参加していたので、得意不得意関係なく取り組むことができるといい。 ○今年度は体育委員会で、学年別のケイドロを開催し、外に出る機会を促すことができていた。 ○熱中症対策が浸透し、WBGTを見ながらこまめに給水・休憩をさせたり、運動中止の判断をしたりしている。	●体育科の授業の中で、休み時間にも行えるような体育科の学習内容につながる運動を紹介し、クラスの中で誘いあって外遊びができるようにする。また、そのような遊びを体力向上部でも紹介していく。 ●体育委員会などで、スーパートライやチャレンジランキングを呼び掛けたり、賞状をつくなどして参加意欲を高める。教師も運動する価値を感じ、参加を促すことが大切だと感じる。 ●暑くなり始める時期に、熱中症対策について再確認し、教職員の熱中症対策に対する意識を高める。 ●運動会の練習期間中の体育授業数が多すぎる。炎天下の中、毎日の体育授業や一日3時間の体育授業は、あまりにも無計画すぎたのではないかと。1学期からコツコツ計画的に取り組むことによって、児童の身体的、肉体的ダメージを考慮していくべきだと思う。 ●運動会練習における安全対策（練習前後の健康観察や準備運動の確実な実施、適切な練習場所、時間等）を取り決め、全職員で確認する。
		8運動会などの行事の取り組みを通して、目標を持って体力づくりを推進する運動実践に努めた。	A				◆身体を大きく動かすことも体力向上だが、室内でもできる太極拳などを体育の授業に取り入れると心身共に健やかになると思う。 ◆コロナから家の中で遊ぶことが多くなったり、ゲームをして遊んだりすることが多くなっており、公園などで友達と遊んだり、木登りなど、全身を使った遊びをすることがあまりできなくなっていると思われる。USJなどもよいのですが夏休みなどを利用して自然の中で全身を使った遊びをもっとしてほしいです。 ◆苦手であったり、運動に取り組みにくい子どもを一步でも一つずつでも楽しめるようにしてほしい。 ◆熱中症対策は、これからもその時期に応じ、対策願いたい。 ◆押しつけはだめだと思います。子どもたちの自主性に任せてはどうでしょうか。 ◆いつも子どもたちの自主性に感心しています。競争心が出てきたら更なる向上があると思います。
		9体を動かす気持ちよさを体験させるとともに、学習カードを工夫するなどして進んで体を動かそうとする意欲の育成に努めた。	B			◇学校を訪問させていただいた時、多くの子どもたちが外で元気に走り回っている姿を見させていただき、元気で子どもらしいと感じました。また、運動会も各学年ごとに見どころがあり、学年ごとの成長も見られ、特に6年生の組体操は、まとまりがありとても良かったと思います。 ◇運動会を見て、今年度は本当にすばらしかった。子どもたち中心で、生き生きとしていた。子どもたちの成果を評価して、努力、成功へと導いた。先生の努力も素晴らしいと思う。 ◇先生方の指導のもと、子どもたちの自主性を引き出し、いろいろとチャレンジすることは良いと思います。この方針を貫いてほしいです。	
	指導改善（組織的・計画的）	10指導体制・指導方法の工夫改善に努め、学力向上を目指した。	A	A 90.1 R5 (A 93.3)	A	○学び力推進として、学校全体で時間に対する意識を高める取り組みとして、①朝読書をチャイムがなったら静かに始めている ②長休み終わりのチャイムが鳴ったら授業が始まる ③昼休み終わりのチャイムが鳴ったら授業が始まる ④下校時間を守る ことを教職員含めて連絡、徹底を推進の度に促している。 ○ICT活用では、夏休みに情報部会や推進委員会を中心に全3回のタブレット研修を行った。「研修で学んだ内容を授業で実践できた」という報告も受け、効果があったと実感している。 ○タブレットの使い方の再確認や児童の取組の様子を成果物として出力するなど、正しく便利に活用することを前年度以上に推進できた。 ○メタモジなど、過去数年に作成されたデータが増えてきたことによって、効果的な教材などがより多く引き継がれるようになっていく。 ○今年度、OJTでは、3年目までの若手教員がそれぞれ公開授業・研究会を行った。同世代の授業を見ることで刺激を受け、良い点を自身の授業に取り入れたり、前回の公開授業の反省点を生かして公開授業を行ったりと、効果が感じられた。また、「社会人としての心得」「授業の組み立て方」「学級経営のコツ」「滋養習字の指導法」など、先輩教員の得意とする分野で、ミニ研修会も行うことができた。 ○夏季研修会に行った研修では、幼稚園の教員にも来校いただき、学びを深めることができた。	●タブレットを授業や家庭学習に取り入れる機会が増えた一方、破損などのトラブルも増えていることから、取り扱いについて定期的に指導していかなければならない。 ●課題としては、OJT公開授業のたびに自クラスを自習にしようことや、他の研修会と重なり、研究会への参加人数が少ない時があったことなどがあげられる。今後は、OJT公開授業の際には、教務や学年全体で授業をフォローするなど、若手が公開授業参観に行きやすい環境を作らなければならない。 ●幼稚園との交流は密になってきたが、中学校との連携はあまり取れていなかったことも課題の1つである。 ●OJTの公開授業や研修会を早めに周知し、近隣の幼稚園や中学校との連携を密にすることで、瀬田学区で協力してOJTを進めていけるようにする。 ●今年度のように、30分程度のミニ研修会を適宜取り入れ、放課後の負担感が増えないよう配慮する。
		11学校全体として指導力・教育力の向上を目指し、職員研修に努めた。	B				◆新しい教育法、タブレット授業は良いことですが、それに伴う使用方法をしっかりと指導し、もの大切さ、扱い方も指導を続けていただきたい。 ◆幼小中の合同研修会も地域も含めて参加、取り入れは負担にならないようお願いしたい。 ◆発展性のある定着しやすい教育ツールの作成を進めてもらいたいです。
		12働き方改革や教育活動の質の改善に向け、計画的な準備・役割分担・ICT活用などの取組に努めた。	B			◇規則正しく時間を守ることは大切です。教育向上に向け研修されていることは、育成にもつながり評価できます。 ◇働き方改革は、地域行事も含め、見直していかなければならないと思います。 ◇子どもたちの授業に対する姿勢が良かったので、それに関するカリキュラムなどの内容が良いのだと思う。 ◇OJT活動、素晴らしいですね。発展性のある活動と継続が必要です。頑張ってください。	

